

2023年度第6回(2024年第4回) 理事会議事録

日 時：2024年6月28日(金) 14:00～17:30

場 所：TKP東京駅カンファレンスセンター カンファ
レンスルーム10B

現地出席者：宇野隆(理事長)、溝脇尚志(専務理事)、
青山英史、有賀 久哲、内田 伸恵、
大西洋、岡嶋馨、古平毅、高橋健夫、
中村和正、村上祐司(以上理事)、
塩山善之、生島仁史(以上監事)、
茂松直之(第36回学術大会長)、
角田怜子、鈴木弘美(以上事務局)

[WEB出席]：井垣浩、石川仁、櫻井英幸、佐々木良平、
澁谷景子(理事)

欠 席：大野達也、小川和彦(理事) (敬称略)

審議事項

1. 前回議事録承認 (溝脇専務理事)

前回(2024/4/12)理事会議事録案と、その後の進捗状況が確認され、承認がなされた。

2. 会員の入会他 (溝脇専務理事)

1) 入会申請(2024年4月2日～6月20日)：計
87名 [内訳_正会員37名、准会員48名、国
際賛助会員2名] であることが報告され、承認
された。

2) 2024年6月20日現在の会員登録状況につい
て下記のとおり説明がなされた。

●会員総数：4,432名 [内訳_正会員2,337名、
准会員1,992名、名誉会員56名、賛助会員
39社、国際賛助会員8名]

●退会者：14名 [正会員1名、准会員13名]

●正会員内訳：医師2,122名 歯科医師46名 医
師以外169名(医師比率90.80%)

●男女比率：正会員[男性1,843名、女性474名]、
准会員[男性1,516名、女性476名]

●専門医数：1,440名 [男性：1,166名、女性：
274名]

●会費納入率：正会員 93.37% 准会員 88.25%

3. 2024年度新規事業予算申請(広報/施設認定/ QA/がん放推進/倫理) (溝脇専務理事)

申請があった以下、次年度(2024年9月-2025
年8月)新規事業予算案について、各担当役員よ
りの説明と、財務・総務委員会での審議の結果
が報告された。財務・総務委員会よりの留意事項
等について各委員会で吟味し、次年度新規事業と
して進めることが承認された。

① QA委員会「IMRT物理技術ガイドライン2023」
英語版作成およびJRR誌への投稿 [承認]

② 倫理委員会「倫理COI申告のオンライン化」[(追
加比較見積資料提出済→承認)]

③ がん放推進委員会「少数常勤医サポート小委
員会事業：患者相談」
[承認：事業の運用手順改善要検討]

④ 広報委員会「JASTROウェブサイト上のSNSの
開設 [承認：導入後の計画等の追加資料提出]
以下の事業は再検討が必要な旨確認された。

⑤ 施設認定委員会「認定施設の外部及び病院経
営者へのPR事業」

[ポスター配布以外の他の施策(例：出力測定
費補助等)も再検討し、再提出]

4. 領域横断的癌取り扱い規約検討委員推薦依頼/ 顎骨壊死診療ガイドライン作成委員について (井垣理事)

● 日本癌治療学会より「領域横断的癌取り扱い規約
第2版」の改訂委員の推薦依頼があり、以下会
員を委員として推薦する旨承認された。

原田英幸 会員(静岡県立静岡がんセンター)

● 3/15理事会にて承認された「顎骨壊死診療ガイ
ドライン」について、各学会より以下GL委員、
村上直也WG長*よりシステムティックレビュー
(SR)委員が推薦され承認された。また非会員
への会議参加者への謝金の支払いについて確
認がなされた。

【日本がん口腔支持療法学会】

勝良剛詞 会員、松田悠平 先生(以上GL委員)、
川下由美子 先生、瀬名浩太郎 先生、

池浦一裕 先生、大西淑美 先生、梨正典 先生、
山田有佳 先生、宮下英高 先生(以上SR委員)

【日本歯科放射線学会】

三浦雅彦 会員、長谷川安都 会員(以上GL委
員)、伊川裕明 会員、武者篤 会員、戒田篤志
会員、新垣理宣 会員(以上SR会員)

【日本サポーターブケア学会】

全田貞幹 会員、小西哲仁 先生(以上GL委員)、
上野尚雄 先生、八岡和歌子 先生、

富澤建斗 会員、竹内照美 先生、富塚健 先生、
白淵公敏 先生(以上SR委員)

【JASTRO】

村上直也 会員、櫻町円香 会員(以上GL委員)、
小杉康夫 会員、宮田裕作 会員、

与芝茜 会員、春日悠希 会員(以上SR委員)

5. 出張旅費規程の見直しについて

(溝脇専務理事/青山理事)

● 宿泊費支給上限額について、昨今のホテル代
等の高騰により、国内は役員・各種委員会委員

の宿泊費を20,000円へ、正職員の宿泊費上限15,000円、海外は40,000円程度、代表者50,000円程度とする改訂案が示され、実績資料が提示され支払い件数等はそれほど多くない旨報告され、改訂が承認された。

- 海外出張旅費（第21条）国際会議について、MOUで規定された会議等の文言が整理され、一部修正が承認された。

6. 小線源治療部会 追加役員承認について

（大野部会長 代：宇野理事長）

2024年5月24日高崎市にて開催された小線源治療部会幹事会において、新幹事（熊崎祐部 会員、室伏景子部 会員）の推薦があり、承認された。

7. 認定施設「区分」変更申請につきまして

（小川理事 代：塩山監事）

青森県立中央病院より認定区分変更の申請があった旨説明され、区分変更が承認された。

8. 2024 Highly cited award, 優秀査読者賞の承認について

（佐々木理事）

編集委員会よりの審査結果が報告され、以下の受賞が承認された。

- 2024年 Highly cited Award (2023年度までの引用回数最多)
受賞者：梶川智博 会員(東北大学)
Kajikawa T, Kadoya N, Ito K, Takayama Y, Chiba T, Tomori S, Nemoto H, Dobashi S, Takeda K, Jingu K. A convolutional neural network approach for IMRT dose distribution prediction in prostate cancer patients. J Radiat Res. 2019 Oct 23;60 (5) : 685-693. doi : 10.1093/jrr/rrz051.
- 2024年優秀査読者賞(査読回数最多) :
儀橋文明 会員(奈良県立医大) /
角谷倫之 会員(東北大) /
小此木範之 会員(順天堂大)

9. 第三者出力線量評価認定作業部会委員の交代・推薦について

（澁谷理事）

現第三者出力線量評価認定作業部会委員である池田恢委員のご勇退に伴い、以下委員が推薦され、承認された。

棚邊哲史 会員(新潟大学)

尚、池田委員のご退任により、医師の部会委員が石倉作業部会長と澁谷理事のみとなるため、医師の委員を追加検討する必要がある旨確認された。

10. 研究課題選考について

（村上理事）

2024・2025年度研究課題について、計18題の応募があり、現状の細則の採択数が最大3題との記載があるが、学術委員会の採点結果により4題の採択が推薦され、細則の見直しを条件として承認がなされた。細則について、他の助成への応募状況や若手・一般病院の会員の研究等、JASTROとして支援すべき事項を明記した変更を

検討する旨が確認された。

基礎「炭素イオン線治療の生物学的高精度化を目指した超解像DSB解析」尾池貴弘 会員(群馬大)

臨床① 「放射線治療計画における無害・無侵襲な口腔内貼付マーカーの研究開発」
濱瑞貴 会員(南和歌山医療センター)

臨床② 「神経内分泌腫瘍に対する¹⁷⁷Lu 核医学治療の線量評価法の標準化への前向き検討」

八木橋貴之 会員(湘南鎌倉総合病院)

臨床③ 「体表面画像誘導放射線治療 (SGRT) の国内適正利用に資する研究」

斎藤正英 会員(山梨大)

11. 阿部賞・梅垣賞、Gold Medal の受賞者について

（有賀理事）

賞等推薦委員会での各審査結果が報告され、以下の通り受賞候補者が推薦され、承認された。

- 2024年Gold Medal：伊丹純 会員
- 2024年特別感謝状：井上俊彦 名誉会員
- 2024年感謝状(個人部門)：谷義正 様(故人)
- 2024年阿部賞：松尾幸憲 会員
- 2024年梅垣賞：大吉秀和 会員、中村匡希 会員
尚、今後は理事会審査にあたり、論文原本そのものを事前資料として送付することが確認された。

12. 放射線治療専門医猶予者の更新/日本専門医機構

第1回放射線治療専門医認定試験受験資格審査

（古平理事）

- 放射線治療専門医更新猶予者のうち、2名の追加更新が承認された。
- 今年度新規願書提出者は48名であり、審査の結果、研修修了条件のうち学術発表・論文発表の不足がある7名について、後日不足項目を満たしていただく条件付き研修修了として全員受験資格を認める旨が説明され、承認された。(JRS理事会で承認済)

13. 臨床的IMRTガイドライン最終案について

（大西理事）

以前より検討を進めていた「臨床的IMRTガイドライン案」について、ガイドライン委員会からの査読結果やIMRTの算定の適否について明記した改訂案が示され説明がなされた。施設基準の条項に当会による認定施設であることが望ましいとの旨追記する意見が提案され、最終案をメール審議する旨、確認された。なお今後は注意点を含めてnewsletter、JASTRO-gram等で周知していく旨確認された。

14. JASTRO 学術大会 2024 における発表の撮影・拡散の許可について

（大西第37回学術大会会長）

演者の同意が得られた場合のみ撮影・拡散を認める旨確認された。また抄録集のデザインについて従来ホワイトベースの同じデザインで作成してきたが、今後は大会長の意向によりカラー版等変更することは問題ない旨確認された。

報告事項

1. 理事長・専務理事職務状況報告

(宇野理事長 / 溝脇専務理事)

現在までの業務状況・活動報告がなされた。

2. 第36回学術大会収支報告

(茂松第36回学術大会会長)

第36回学術大会(2023/11/30～12/2・パシフィコ横浜ノース)について、茂松第36回学術大会会長より会計収支報告がなされた。ノースの会場費や設営費等々費用もかかったが、2800名超す参加者と、多数の機器展示による収入により、大きな収支差額を学会へ返納した旨報告された。

3. 代議員選挙(2024・2025年度)結果報告等

(宇野理事長)

2024・2025年度代議員選挙結果が示され、代議員総数213名〔内訳：一般枠191名(定数191名)、女性枠17名(定数20名)、物理技術枠5名(定数5名)〕となった旨報告された。また役員選挙の日程が示され、次回理事会にて推薦理事を決定する予定である旨確認された。

4. JASTRO 学術大会 2024 準備状況報告

(大西第37回学術大会会長)

プログラム案の資料が提示され、多彩なプログラム、大会独自の表彰等準備を進めている旨報告された。

5. ガイドライン委員会：臨床的IMRTガイドライン再査読・乳房再建ガイドブック査読(井垣理事)

臨床的IMRTガイドラインについて修正案に対する追加意見はなかったこと、「患者さんと家族のための乳房再建ガイドブック」の査読結果が示され報告された。

6. 粒子線治療委員会：先進医療の変更に伴うホームページの変更(櫻井理事)

2024年6月の保険収載に伴い、学会HP粒子線治療ページの記載変更をした旨が報告された。

7. 編集委員会：JRRロイヤリティー、優秀論文賞公募他(佐々木理事)

●JRR誌ロイヤリティーについて、2014年以降各学会の“前年担当論文数比率”で案分しており、2023年度も同様に、担当論文数比率で以下の通り決定したことが報告された。

JASTRO：\$8,847(169編56%) /

JRRS：\$6,952(131編44%)

●2023年のインパクトファクター(IF)について、昨年より低下し1.9であったことが報告された。またIFアップの方策として他雑誌実施の「交換総説」について検討すべきとの意見も出されたが、OUP社より問題の可能性があると指摘があった旨説明された。

●昨年に設置されたJRR誌優秀論文賞について昨年は公募期間が短かったこともあったため、今年は公募期間を6/20～7/10と設定し、既に当会ニュースレター等で広報済みである旨報告された。

●OUP社取り組みの“Author Demographic Data Collection”(Joint Commitment for Action on Inclusion and Diversity in Publishing：著者・査読者・編集委員のanonymized demographic data収集、ジャーナルの多様性を測る指標、公平な査読環境を提供するための活動含む)のJRR誌導入依頼について、編集委員会における審議の結果、参加の方針である旨報告された。

8. 渉外・関連学会委員会：学会、研究会等への後援依頼他(佐々木理事)

●「共催・協賛・後援等の依頼等に関する取扱規程」に基づき、当委員会での審議の結果、日本癌治療学会第27回アップデート教育コース他1件の後援の許諾を行った旨、報告された。

●本委員会の事業「他領域関連学会発表助成事業」に対して、助成ではなく賞として表彰ができないかという意見が出され、事業の目的等も踏まえ、再検討する旨が確認された。

9. 緩和的放射線治療委員会：政府「骨太の方針2024への提言：がん対策関係要旨」(高橋理事)

●2024年6月21日閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2024」(骨太の方針2024)にがん対策推進基本計画等に基づくがん対策等の推進や放射線治療の拡充、がん検診受診率の向上、両立支援、緩和ケア、がんプロフェッショナル養成事業、がん教育の全国展開等が盛り込まれた旨報告された。

●緩和的放射線治療普及のための好事例集については現在最終のブラッシュアップ中で、9月頃には電子版で全国へ配布する旨報告された。

●緩和的放射線治療診療GLについては現在CQの作成を行っており、中堅医師を中心に作業を進めている旨報告された。

10. 倫理委員会：役員COIの確認(高橋理事)

2024年4月12日の倫理委員会にて役員等のCOIおよび緩和的放射線治療診療ガイドライン執筆者のCOI確認を行い、特に問題となる事例は認められなかった旨報告された。

11. 教育委員会：海外派遣助成研修／生物学セミナー看護セミナー／「よくわかる放射線治療」第2版契約／優秀教育講演賞等(内田理事)

●前々回の理事会にて審議した医用原子力技術研究振興財団との海外研修助成事業の共催について、財団から承諾の回答があり、共催を終了した旨報告された。

●2024年3月16日ハイブリット(北海道大学+WEB)にて開催の「第14回放射線生物学セミナー」[稲波修 世話人(北大)] / 参加者：162名(うち有料参加者123名・現地：59名 Web：103名)の収支決算書が提示され、収支報告がなされた。[仮払金への返金一部あり]

●2024年6月1日ハイブリット(TKP金沢+WEB)にて開催された「第40回がん放射線治療看護セミナー」[角美奈子 世話人(東京都健康長寿

医療センター) 参加者660名の収支報告書および参加者アンケートが報告された。

- やさしくわかる放射線治療学(改訂2版)の契約書が示され、これに基づき1200部の印税が支払われる旨報告された。
- 2024年優秀教育講演賞受賞者について、以下推薦され、決定がなされた。
吉岡靖生 先生(がん研有明病院)
武田篤也 先生(慶應大)
- 今後の教育委員会所管のセミナーについて以下を予定している旨報告された。
2024/7/13
第12回放射線治療・物理学セミナー
松浦妙子 世話人(北大)
2024/8/3-4
第25回放射線腫瘍学夏季セミナー
岡嶋馨世 世話人(近大奈良病院)
2024/9/14
第9回小児がん放射線治療セミナー
水本斉志 世話人(筑波大)
第15回放射線生物学セミナー
松本義久 世話人(東工大)
第26回夏季セミナー
齋藤淳一世話人(富山大)

12. がん放治推進委員会：医学生研修医オンラインセ / 脊椎 SBRT ハンズオンセミナー(石川理事)

- 2024/4/12開催のがん放治推進委員会の報告がなれた。
- 2024/5/18「医学生・研修医のための放射線治療セミナー(ウェブ)」、2024/6/2「第1回脊椎SBRTハンズオンセミナー」(バリアン本社/実行委員長：中村直樹会員、世話人：金田朋也会員/平田岳郎会員)の開催報告がなされた。

13. 生物部会 (石川理事)

- 2024/3/16「第14回放射線生物学セミナー」[ハイブリッド/稲波修 世話人(北大)/参加者162名)、2024/5/17-18「第61回生物部会・第52回放射線による制癌シンポジウム」[ハイブリッド群馬会館/高橋昭久 世話人]、常任幹事会、幹事会の開催報告がなされた。
- 各WG(学術WG、広報WG、TR推進WG)の活動報告がなされた。
- 今後の生物部会の予定は以下の通り報告された。
2025年 第62回生物部会第53回制癌シンポ
石川仁 大会長/第15回放射線生物学セミナー
松本義久 世話人
2026年 第63回生物部会第54回制癌シンポ
松尾政之大会長/第16回放射線生物学セミナー
小川和彦 世話人
2027年 第64回生物部会第55回制癌シンポ
大会長 未定/第17回放射線生物学セミナー
鈴木稔 世話人

14. 国際委員会：国際シンポジウムの予定と準備状況 (青山理事)

- 2024/8/17-18「日台シンポジウム」(札幌/青山英史大会長)の開催準備状況、次回開催予定

[2025年台湾、2026年日本]が説明された。

- 2024/8/23-25“ESTRO-meets-ASIA/FARO symposium”(マレーシア)について、座長の依頼を受けている旨報告された。
- 2024/9/30“ASTRO-JASTRO symposium”(ワシントン)でのテーマ：肝臓癌等が決定した旨報告された。

15. DB委員会：データセンター移行/RI内用療法症例データベース検討小委員会(中村理事)

- 構造調査・JRODデータセンター移行：量子科学技術研究開発機構との共同研究は2024年3月末で終了し、現在、研究事務局の引継ぎ実施中である旨報告された。今後は浜松医科大学内にてJASTROデータセンター移行する旨説明された。
- RI内用療法症例登録事業：RI内用療法症例データベース検討小委員会の委員追加が報告された。若林大志 先生(金沢大学附属病院 核医学診療科/非会員)
立野沙織 先生(近畿大学医学部放射線医学教室)
またRI内用療法症例の症例登録プラットフォーム構築に向けてルタテラ・MIBGの調査項目を確定し、9月～10月を目途に登録の開始の準備を進めている旨報告された。

16. 小線源治療部会：小線源治療によるAPBIガイドライン改訂WG (大野理事代：生島監事)

2015年2月発行「密封小線源を用いたハイブリッドアプリケーションによる加速乳房部分照射ガイドライン」の改訂について、乳腺外科医(日本乳癌学会へ依頼予定)、放射線腫瘍医、医学物理士のWGメンバー推薦案(計12名)の準備を進めており、日本乳癌学会に編集協力を依頼する予定が説明された。

17. 将来計画：AI-WG事業の進捗状況について (村上理事)

2回の会議開催(2023/12/2、2024/6/4-5)とRTQM社によるデータベースWebシステム構築作業継続中であり、次年度早期に運用開始予定である旨進捗状況が報告された。

18. 専門医制度：機構認定サブスペシャリティ放射線治療医更新規準案改訂の経緯 (古平理事)

既に機構へサブスペ放射線治療医更新規準案の改訂を提出したが、対応保留になっている旨JRSに連絡があったことが報告された。

19. 広報委員会：特定資金PR事業 市民公開講座・アンケートの調査/プレスカンファレンス (岡嶋理事)

- 「2024プレスカンファレンス(マスコミ向け)」の開催予定について、以下決定した旨報告された。
日時：2024年9月19日(木)16:00～/テーマ：第37回学術大会/肺がんへの放射線治療の進化等
講演予定者：宇野 理事長、大西 理事、岡嶋 理事、櫻井 理事、井垣 理事

- 特定資金：放射線治療PR事業「放射線治療に関するアンケート調査」の実施形態
前期実施のインターネット調査(マクロミルケアネット社調査)の継続について、今期は市民公開講座 ウェブ登録者を対象としてアンケートとして実施する旨説明された。
- 特定資金：放射線治療PR事業「7/13市民公開講座」準備状況について、がん拠点病院、認定施設、代議員にポスター告知を依頼中であるが、まだ申込が少なく、直前のため費用が抑えられたこともあり7/5産経新聞(東京23区1/6枠+千葉版全面広告)広告を掲載予定であることが報告され、理事にも更なる告知の協力が依頼された。